



～長生・茂原地区消費者行政活性化シンポジウムを開催～

—— 千葉県民提案事業 ——

2月5日茂原市役所市民室にて、長生・茂原地区消費者行政活性化シンポジウム「一緒に考えよう 消費者被害を未然に防ぐには」が開催されました。

はじめに河野誠代表幹事が主催者挨拶を行い、続いて田中豊彦・茂原市長よりご挨拶をいただきました。市長からは今年の4月より消費者センターとして移行すべく鋭意準備をしているとの力強い挨拶をいただきました。



茂原市長挨拶



第1部では「悪質商法被害の予防・救済と地方消費者行政の役割」と題して消費者行政充実ネットちば事務局長拝師徳彦弁護士より、被害者の生活を破壊する悪質商法に対して、撲滅のために消費者行政ができること、市町村における地方消費者行政の重要性、私たちの生活の安心・安全を守るために住民ができることなどを内容とした基調報告が行われました。

続いて、千葉県の消費者行政について、千葉県県民生活課消費者行政推進室長の吉田俊哉氏より報告され、また、茂原市の消費者行政について、茂原市市民部生活課長の鈴木健一氏より報告がありました。



吉田室長報告



鈴木課長報告

第2部のパネルディスカッション「一緒に考えよう 消費者被害を未然に防ぐには！」では、拝師徳彦弁護士をコーディネーターに、茂原市自治会長連合会副会長・嶋崎義光氏、白子町民生委員児童委員協議会長・片岡功一氏、中核地域生活支援センター「長生ひなた」所長・渋沢茂氏、茂原警察署生活安全課長・町田浩昭氏、茂原市消費生活相談員・青柳一恵氏、茂原市市民生活部生活課係長・實方弘二氏をパネリストとして、討論が行われました。発言の要旨は次のとおりです。(文責は山田)。



嶋崎氏：被害の未然防止を目的とし、パトロールを行ったり、その時々の問題点について話しあったり、時には警察の協力をいただくなどみんなで協力することが大事です。

片岡氏：業者の親身を装った態度に被害にあった意識がない人も多い。行政に対しては近隣地域の中核としての定期的な勉強会や情報の提供がほしいです。

渋沢氏：中核地域生活支援センターでの高齢者の被害についての事例ですが、近所の人から情報をいただき、ヘルパーと一緒に日常生活の全般の面倒をみながら支援しています。

町田氏：高校の卒業アルバムの名簿などを使った振り込め詐欺では、警察署からもアルバムの名簿の人

に、注意を喚起する対応をとり喜ばれました。

青柳氏：茂原市の窓口にも様々な消費者被害の相談が寄せられ、相談する人の立場に立って対応をしています。いつでも気軽に相談してください。

實方氏：パネリストからの意見を今後の行政に活かしていきたい。

引き続き、今後の課題として、消費者被害防止のために、市民ができることや行政に対する要望、行政、法律家、警察との連携などについて議論がされました。

最後に本シンポジウム実行委員・永山和江氏(茂原市消費生活モニター会長)から長生・茂原地区消費者行政活性化に向けた提言を提案し拍手で承認されました。

なお、本シンポジウムの司会進行は実行委員会実行委員長の大塚節子氏が務めました。



大塚実行委員長

提 言 の 項 目

1. 消費生活センター等の窓口の充実強化について
2. 行政職員の専門性の向上について
3. 市民団体の活動支援について
4. 市民団体相互・市民団体と行政との連携について
5. 近隣町村との連携について



< お 知 ら せ >

消費者支援活動等に対する 民間表彰をうけました！



全国消団連では、地方消費者行政の充実強化を促進するために「いきいき消費者行政パートナーシップ表彰」第1回を企画しました。全国35団体から応募があり、その中の3団体としてネットちばが選ばれ、消費者庁が開催した5月30日の消費者月間のシンポジウムに合わせた表彰式でネットちばの河野代表が表彰状をうけ取りました。

千葉県議会で全会一致で採択！ 消費者行政強化を求める国への意見書

- ・3月11日の千葉県議会本会議でネットちばが請願として提出していた消費者行政強化を求める国への意見書が全会一致で採択されました。今後は市町村議会での意見書採択を求めています。
- ・今年度も市町村でのシンポジウムを県民提案事業として開催します。

◇ 6月13日に開催される今年度の消費者フォーラムin千葉の事例発表でネットちばの活動を前野代表幹事が発表します。